

実験の概要(100字程度)

過疎先進地である庄原市で、①公共交通空白地での生活・観光交通両立型デマンド交通の運行実験 ②観光地内回遊GSM導入実験 ③生活交通利用者向け医療・買い物サービス予約実証実験 ④アプリ・Web一元化対応による機能・受容可能性実験を行う。

協議会の構成員

(地元(庄原市))

- ・庄原商工会議所
- ・庄原市役所
- ・庄原市観光協会
- ・備北交通
- ・(協)庄原ショッピングセンター
- ・庄原赤十字病院

(全国)

- ・呉高専(神田研究室)
- ・ヴァル研究所
- ・トラフィックブレイン
- ・NTTドコモ中国支社
- ・広島県(地域力創造課)

地域の交通課題

1)沿線地域の極度な高齢化・人口減少の進展

- ・高齢化・人口減少が顕著。将来の人口増加が見込めない。

2) 交通の担い手の不足

- ・バスドライバーの不足による路線展開への制約
- ・観光地内の回遊交通のサービス停止

3) 既存の公共交通の維持水準を満たさないレベルへの需要の減少

- ・移動したい時間帯にバスが運行されなくなっている。
(通学メインの公共交通サービス)

4) 検索サービス等への対応の遅れ

- ・主に生活交通は、交通系検索システムに未対応

5) 公共交通を活用した移動の需要喚起の対応不足

- ・公共交通を活用したライフスタイルに適応難。需要喚起も不十分

本格的な導入に向けた検証項目、目標値

1)デマンド交通利用者数：12人/日(生活移動、観光移動それぞれ)

2)GSMの利用者数：(20人/日(土休日))

3)利用者満足度評価：3.5点/5点満点

4)アプリ利用者数：100人

5)運営関係者ヒアリング調査：運営上の課題の抽出

実験内容

①庄原市中心部(交通拠点+市街地)と、帝釈峡を接続するデマンド交通サービスを試験導入

- － 帝釈地区・本村地区の生活交通需要と、帝釈峡への観光交通需要をカバー
- － 10人乗りハイエースクラスの車両を想定
- － AI予約管理



②帝釈峡内を回遊するGSM(ゴルフカート型)の試験導入

- － 風光明媚な散策路の回遊需要をカバー(片道約3km,馬車の代替)
- － 位置情報対応(GTFS-JP/RT)
↑H30.7豪雨災害時に緊急開発した災害時バスロケサービスを転用
- － AI予約管理



③デマンド交通利用者向け生活サービス提供

- － 病院の診察予約連携サービス(庄原赤十字病院)
- － 買い物施設支援サービス(庄原ショッピングセンター)

④デマンド交通・GSM・遊覧船の検索サービス、付帯サービスを含んだ決済対応・アプリ/Webサービス開発

- － 庄原市観光協会保有の決済システムと接続
- － 観光レンタサイクルとも接続
- － 既存の公共交通検索サービスと連動